

Micro Focus Server for WindowsR

ディプロイライセンスガイド

第 2 版

2003 年 5 月

このガイドでは、Net Express を使用して作成され Application Server for Net Express や Enterprise Server for Windows で実行される COBOL アプリケーションの設定とライセンス方法について説明します。このガイドは、ビジネスコンピューティング、Windows システムの使用と管理に関する知識があることを前提としています。

第 1 章 : はじめに

ここでは、Net Express を使用して開発したアプリケーションに必要なライセンス、およびライセンスの設定方法を説明します。

以下、このマニュアルでは Application Server を参照する場合、その 1 ユーザライセンス製品である Run Time System for Net Express も含んでいるものとします。

はじめに

Enterprise Server または Application Server を使用するアプリケーションを実行する前に、Enterprise Server または Application Server (ES や AS) ライセンスをインストールする必要があります。

ES または AS ライセンスには、次の 2 つのタイプがあります。

- エンドユーザライセンス

Enterprise Server や Application Server for Net Express を購入すると、ライセンスキーカードが提供されます。このカードは、ES または AS ライセンスを紙にコピーしたものです。このカードは、製品名 (たとえば、Application Server for Net Express) とライセンスされたユーザ数を識別し、ライセンスキーが印刷されています。

- 開発者用ライセンス

Net Express は 5 つの AS ライセンスと 1 つの ES ライセンスを付けて出荷されます。これらは、開発者用ライセンスとして知られています。このライセンスで、開発者が開発システムとは別のマシン上でアプリケーションをテストすることを使用可能にします。詳細については、『[開発者用ライセンス](#)』の章を参照してください。

AppTrack License Administration ユーティリティでライセンスをインストールできます。または、アプリケーションの設定プログラムの一部としてライセンスをインストールすることができます。その場合は、ライセンスを定義したファイルを入力するよう求められるか、または自動的に抽出します。ライセンスのインストールの詳細については、『[ライセンスのインストールと管理](#)』の章を参照してください。

いくつかの方法でライセンスの使用状況を監視できます。『[ライセンスのインストールと管理](#)』の章にある『[ライセンス使用状況の監視](#)』を参照してください。

ライセンスの必要時期

アプリケーションが内部利用であるか、または再販であるかによって、運用環境で Net Express アプリケーションを実行する前に、ES または AS ライセンスが必要です。

次の場合に、ES ライセンスが必要です。

- アプリケーションを Enterprise Server でデプロイする場合
- COBOL Web サービスを Enterprise Server でホスティングする場合
- Enterprise Server と COBOL プログラムの間を J2EE で接続し、その接続に Micro Focus 製の J2EE コネクタ (リソースアダプタ) を使用する場合

すべてのデプロイのシナリオに対して、次の AS または ES ライセンスを必要としない場合を除いて、AS ライセンスが必要です。

- ユーザがすでに Net Express 開発ライセンスを保有し、Net Express 開発システムに使用している同一のマシン上でアプリケーションを実行している場合。Net Express とは別のマシンでアプリケーションをテストするには、Net Express に限定数で提供されている開発者用ライセンスが必要になります。詳細については、『[開発者用ライセンス](#)』の章を参照してください。
- ユーザがすでに同一マシンで実行される他のアプリケーションに対する Application Server または Enterprise Server を使用するライセンスを保有している場合。購入したライセンスによって異なる場合があります。

ES ライセンスでは Application Server アプリケーションを実行できますが、AS ライセンスでは Enterprise Server アプリケーションを実行できません。詳細は、Readme ファイルの『[エンドユーザー向けソフトウェア使用許諾書](#)』を参照してください。

ライセンスデータベース

インストールするライセンスは、すべてライセンスデータベースに格納されます。このデータベースは、最初にライセンスをインストールしたときに生成されます。データベースは mfasdb ファイルに保持され、このファイルはデフォルトのディレクトリ c:\mfasmf に置かれます。

そのデータベースがマシン上で 1 つ設定されているか、またはネットワークサーバ上で 1 つを使用するかを除いて、データベースの詳細を知る必要はありません。組織は、これに関する方針が必要です。ネットワークライセンスデータベースはライセンスの維持を容易にしますが、ネットワークサーバが常時稼働し、アプリケーションを実行するときに稼働している必要があります。

AppTrack でライセンスをインストールしたり削除したりする場合を除き、データベースの内容を変更できません。データベースのキーは暗号化されており、ユーザは AppTrack を介してのみ見ることができます。AppTrack へのアクセスは、オプションのパスワードシステムで制限できます。

1 つのマシンは、1 つのアクティブなライセンスデータベースを保有できます。そのデータベースは、いったん生成されると、移動できません。ただし、別のデータベースを生成し、元のデータベースのかわりに使用できますが、元のデータベースに ES または AS ライセンスをインストールしている場合は、新しいデータベースに再インストールする必要があります。

既存のライセンスデータベースの位置を見つけるか、または新しいライセンスデータベースを設定するには、`aslmlocate` ユーティリティを使用します。

[方法](#)

データベースが削除されたり破損したりした場合は、バックアップから復元できません。AppTrack でライセンスを再インストールして再作成する必要があります。悪意をもったユーザが故意にデータベースを破壊したり、削除したりすることを防止する手段はありません。

環境の設定

AppTrack 実行環境または Enterprise Server や Application Server を使用するアプリケーションは、アプリケーションまたは Enterprise Server や Application Server をインストールする一部として設定されます。設定されない場合は、次のように行う必要があります。

1. アプリケーションが Application Server を使用する場合は、アプリケーションを示すパスを設定します。

[方法](#)

2. Enterprise Server または Application Server がネットワークライセンスデータベースを使用する場合は、ローカルのマシン上の `ASLMFNET` 環境変数を設定して、データベースへのパスを設定します。ネットワークライセンスデータベースは、インストールされたローカルデータベースのかわりに使用されます。

[方法](#)

3. AS または ES ライセンスがインストールされていない場合は、それらをインストールします。

[方法](#)

第 2 章 : アプリケーションへのライセンス設定

ここでは、アプリケーションに確実にライセンスを与えるために開発者として行う必要がある内容、およびエンドユーザがアプリケーションを容易に設定するための方法を説明します。

概要

Net Express で開発したアプリケーションを出荷する場合は、Enterprise Server for Windows または Application Server for Net Express を必要に応じて提供する必要があります。Enterprise Server および Application Server は、実行時システムとサポートを提供します。これらは、Net Express の一部として、独立した CD として提供されます。

エンドユーザは、Micro Focus 社の提供する Application Server または Enterprise Server の設定プログラムを使用することをお奨めします。この設定プログラムは、インストールプログラムにライセンスキーとデータベースの位置の入力を要求します。この情報を自動化するよう準備できるため、エンドユーザは、それらを入力する必要はありません。

Application Server を使用するアプリケーションに独自の設定プログラムを提供したい場合もあります。その場合は、たとえば、アプリケーションと Application Server の両方が同時にインストールされます。

提供された設定プログラムによる設定

エンドユーザは、Micro Focus 社の提供する Application Server または Enterprise Server の設定プログラムを使用することをお奨めします。設定プログラムは、次のような情報の入力を要求します。

- ライセンスデータベースの位置。設定プログラムのコマンド行に、ライセンスデータベースの位置をあらかじめ指定することで、入力を省略できます。

[方法](#)

- ライセンスキー。インストールの一部として、ライセンスを自動的にインストールすることをお奨めします。これは、スクリプト `asImpcsilent.exe` を使用して実現できます。

[方法](#)

ライセンスを自動的にインストールしない場合は、エンドユーザにライセンスキーを提供する必要があります。エンドユーザは、ライセンスデータベースが移動されたり、破損したりした場合の問題解決のために、ライセンスキーを記録する必要があります。

独自の設定プログラムの作成

Application Server または Enterprise Server で動作するアプリケーションに、独自の設定プログラムを作成できます。Enterprise Server で動作するアプリケーションの設定には、アプリケーションが Enterprise Server とともにデプロイされる必要がありますが、その他は必要ありません。

Application Server のアプリケーションに対する独自の設定プログラムを提供する場合は、まず、エンドユーザのインストール方法を決定する必要があります。たとえば、エンドユーザがアプリケーションを Application Server とともにインストールするか、またはアプリケーションとは別の共有 Application Server をインストールするかということです。

アプリケーションと Application Server をパッケージ化する方法は、次のとおりです。

- スタンドアロンアプリケーション - 実行形式ファイル、Microsoft Visual C++ ランタイムシステム msvcrt.dll、および Application Server のライセンスファイル。これらのファイルの詳細については、Net Express のヘルプトピックの『[出荷のためのライセンスと設定ファイル](#)』を参照してください。

次のようなインストール手順が必要です。

1. Application Server のライセンスファイルをアプリケーションと同一のディレクトリにインストールします。
2. Application Server を使用するアプリケーションが初めてマシンにインストールされる場合は、ライセンスデータベースを設定します。その後のインストールでは、同一のデータベースが使用されるので、データベースは、そのマシン上で Application Server を使用するすべての AS ライセンスを保持していません。

方法

- 共有 Application Server - この Application Server は、エンドユーザのマシン上で複数の COBOL アプリケーションで使用されます。この場合は、アプリケーションとは別のディレクトリにインストールされます。マシンには、1 つのみの Application Server がインストールされます。

共有 Application Server のインストールと関連するレジストリエントリを行うために、提供された設定プログラムを使用します。この場合は、ネットワークサーバ上に共有ライセンスデータベースを設定します。このデータベースは、すべてのエンドユーザのアプリケーションに対する AS ライセンスを保持しています。

方法

- アプリケーション固有の Application Server - この Application Server は、単独の COBOL アプリケーションとともにインストールされ、使用されます。このシナリオでは、

特定の Application Server ファイルをインストールできますが、完全な Application Server をインストールすることをお奨めします。

次のようなインストール手順が必要です。

1. Application Server のファイルをアプリケーションと同一のディレクトリにインストールします。
2. Application Server を使用するアプリケーションが初めてマシンにインストールされる場合は、ライセンスデータベースを設定します。その後のインストールでは、同一のデータベースが使用されるので、データベースは、そのマシン上にインストールされた Application Server のコピーに対するすべての AS ライセンスを保持しています。
3. ネットワークサーバ上に共有ライセンスデータベースを設定します。このデータベースは、すべてのエンドユーザのアプリケーションに対するライセンスを保持しています。

[方法](#)

アプリケーションを Application Server とともに出荷する方法の詳細については、Net Express のヘルプトピックの『[概要 - アプリケーションの出荷](#)』を参照してください。

第 3 章：ライセンスのインストールと管理

ここでは、AppTrack の実行方法、ES や AS ライセンスのインストールと管理方法について説明します。

はじめに

Enterprise Server または Application Server を使用するアプリケーションを実行する前に、ES や AS ライセンスがインストールされている必要があります。ライセンスは、いくつかの方法でインストールできます。

- Enterprise Server または Application Server for Net Express をインストール中に要求された場合にライセンスキーを入力する方法。この方法は、Micro Focus 社から提供される設定プログラムを使用している場合に使用可能です。

[方法](#)

- Enterprise Server for Windows または Application Server for Net Express のインストール中、またはアプリケーションの提供者が設定プログラムを準備している場合のアプリケーションのインストール時に、自動的にインストールする方法。この設定プログラムは、Micro Focus 社から提供されたものか、またはアプリケーション提供者から提供されたものです。自動的にライセンスをインストールするように準備するには、`aslmpcsilent` ユーティリティを使用します。

[方法](#)

- インストール後にライセンス キーを入力するには、AppTrack License Administration ユーティリティを使用します。

[■AppTrack によるライセンスのインストールとアンインストール](#)

インストールするライセンスは、すべてライセンスデータベースに格納されます。誤用を防止するために、パスワードを設定することをお奨めします。

AppTrack の実行

AppTrack License Administration ユーティリティでライセンスをインストールし、管理します。

ライセンスの詳細を正しく表示するために、最新バージョンの Enterprise Server または Application Server に付属する AppTrack を使用してください。

[方法](#)

AppTrack パスワードの設定

ES や AS ライセンスが他人にコピーされることを防止したり、許可されていない人物がライセンスシステムを改ざんすることを防止したりするために、AppTrack にパスワードを使用することをお奨めします。

インストールするすべてのライセンスは、初めてライセンスをインストールしたときに生成されるライセンスデータベースに格納されます。設定したパスワードは、そのライセンスデータベースにインストールされるので、データベースが生成されるまではパスワードを保存する場所はありません。ライセンスをインストールし、データベースが生成されると、そのパスワードが保存されます。ライセンスデータベースからすべてのライセンスを削除しても、パスワードは保存されます。ライセンスデータベースには、1 つのみのパスワードが存在することに注意してください。

[方法](#)

AppTrack によるライセンスのインストールとアンインストール

AppTrack を使用して手動でライセンスをインストールしたり、アプリケーションのインストール時に自動的にインストールしたりできます。

同一の ES または AS ライセンスを複数のマシンに同時にインストールしてはなりません。その場合は、使用許諾契約条件を破ることになります。ES または AS ライセンスを 1 つのシステムから他のシステムに移すには、まず現在のシステムからライセンスをアンインストールする必要があります。さらに ES または AS ライセンスが必要である場合は、サポート窓口または Micro Focus 社が許諾した提供者に、購入の詳細を連絡してください。

[方法](#)

ライセンス使用状況の監視

ES または AS ライセンスの使用状況を AppTrack のライセンスレポートを表示したり、Enterprise Server のコンソールログを表示したりすることで監視できます。

Enterprise Server ライセンスメッセージがコンソールログに出力され、Enterprise Server Administration コンソールで表示できます。

[方法](#)

AppTrack のライセンスレポートは、次の情報を表示します。

- インストールされているライセンス数
- 各ライセンスのシリアル番号とライセンス番号

- 各ライセンスの残存期間と残存時間

[方法](#)

第 4 章：開発者用ライセンス

ここでは、アプリケーションのテストのためにインストールする ES または AS ライセンスについて説明します。

4.1 はじめに

Net Express などの Micro Focus 開発システムは、5 つの AS ライセンスと 1 つの ES ライセンスを付けて出荷されます。これらは、開発者用ライセンスとして知られています。

開発者用ライセンスは、開発者に開発システムとは異なるマシン上で、アプリケーションをテスト可能にするものです。ライセンスは、アプリケーションの開発とテストに限定されます。実際のアプリケーションを実行するためにデプロイしてはなりません。

この補完的な開発者用ライセンスは、30 日に限定されます。ただし、再インストールすると、さらに 30 日の使用期限が得られます。また、必要に応じて何度も再インストールができます。

AppTrack を非開発者として同じように実行でき、その提供する任意の機能を利用できます。

アプリケーションを Application Server とともに出荷する方法の詳細については、ヘルプトピックの『[概要 - アプリケーションの出荷](#)』を参照してください。

4.2 開発者用ライセンスのインストール

開発者用ライセンスをインストールする前に、Net Express がインストールされているマシンとは別のマシンに Application Server をインストールする必要があります。Application Server をアプリケーションのインストールの一部としてインストールすることもできます。

『ライセンスのインストールと管理』の章にある『[AppTrack によるライセンスのインストールとアンインストール](#)』で説明されているように、開発者用ライセンスを他の ES または AS ライセンスと同じようにインストールできます。

4.3 開発者用ライセンス使用上の問題

アプリケーションのテストで、ES または AS ライセンスが使用できないというメッセージが表示された場合は、ライセンスデータベースが 5 つの補完的なライセンス単位を保有していないことを示しています。

AppTrack のライセンスの詳細で、ES または AS 開発者用ライセンスを確認できます。インストール済みの開発システムは、***Developer Usage でマークされます。

[方法](#)